



報道発表資料

令和8年2月27日

担当:総務部 危機対策課 危機管理係

伊藤・矢内

電話:022-767-2174

令和7年度防災シンポジウムを開催します
東日本大震災から15年 ～震災の教訓を地域防災へ～

- 開催日：令和8年3月8日（日曜日）午前10時から12時まで
- 場 所：利府町文化交流センター「リフノス」（森郷字新椎の木前31-1）
- 参加者：地域住民、防災関係者、役場職員等
- 内 容：

東日本大震災から15年が経過する中、時間とともに風化しつつある震災の記憶と教訓を風化させず後世に伝承し、『命の大切さ』と『自助・共助』の重要性の認識を通じて、町民の防災意識の向上と地域防災力の強化を図ることを目的に、有識者から基調講演をいただくとともに、地域防災活動に取り組む住民代表等を迎えてのパネルトークを行いますので、報道機関の皆様におかれましては、事前の周知及び当日の様子取材いただきますようお願いいたします。

○第1部：基調講演（午前10時から10時45分）

- ①講師：佐藤美香氏（石巻市に在住、東日本大震災で愛娘を失う）
- ②演題：「いのちは つながる」

～愛梨ちゃんが遺した地域防災という希望～

○第2部：パネルトーク（午前11時から12時）

- ①コーディネーター：梶山浩一 氏（菅谷台防災士の会）
- ②パネリスト
菅原淳一 氏（美術家・防災士）
小熊陽一 氏（利府郵便局長・防災士）
佐藤美香 氏（語り部・防災指導員）

③テーマ：「つながりが、命を守る力になる」

～菅谷台町内会から始まった地域防災の実践～

■その他：

- ・災害発生等により、急遽中止となる場合には改めてお知らせいたします。
- ・その他詳細は別紙チラシをご確認ください。

防災シンポジウム

東日本大震災から15年 ～震災の教訓を地域防災へ～

第一部

「いのちは つながる」

～愛梨ちゃんが遺した地域防災という希望～



◀ 佐藤 美香氏 — 語り部・防災指導員 —

被災地・石巻を拠点に、行政と地域をつなぐ防災の要として活動。宮城県防災会議委員等を務め、制度と現場の双方に精通。実効性ある地域防災体制づくりと人材育成に長年取り組んでいる。アイリンブループロジェクト副代表。



◀ すがわら じゅんいち氏 — 美術家・防災士 —

東日本大震災の経験を原点に、芸術と防災を結ぶ独自の活動を全国で展開。「小さな命を守る社会」をテーマに、講演、地域連携避難訓練、防災人材育成をアートの力を使い活動を行っている。一般社団法人Bird's-eye 代表、アイリンブループロジェクト主宰。

第二部

「つながりが、命を守る力になる」

～菅谷台町内会から始まった地域防災の実践～

コーディネーター

菅谷台防災士の会
梶山 浩一氏

パネリスト

美術家・防災士 菅原 淳一氏

利府郵便局長・防災士 小熊 陽一氏

語り部・防災指導員 佐藤 美香氏

とき

3月8日 2026 日 10:00～12:00

ところ

利府町文化交流センター
「リフノス」多目的ホール

申込
期間

2月8日(日)

～3月7日(土)

事前に電話または「リフノス」総合案内窓口にてお申し込みください。

お申込みの際に【①氏名、②市町村、③年代、④電話番号】をお知らせください。

【主催】利府町 【共催】利府みらいクリエイティブ



リフノス
利府町文化交流センター

〒981-0103

宮城県宮城郡利府町森郷字新椎の木前 31-1
公民館・文化会館

022-353-6114

定員
300名

- 入場無料
- 全席自由
- 事前申込制

※先着順につき、定員に達し次第、締切とさせていただきます。

